

かがやく子

令和元年5月31日

福原小・中学校では連携教育を推進しています

福原小・中学校では、小中一貫教育を目指し、小中の教職員が協働して授業や学校行事を行っています。これは、小中の教員同士が協力して、9年間の教育活動のつながりをもっと滑らかにし、子どもたちのよさをもっと伸ばしていきたいという願いから始まりました。この取組を、広く保護者・地域の皆様に知っていただき、応援していただきたいと考え、連携教育だより「かがやく子」を発行いたします。

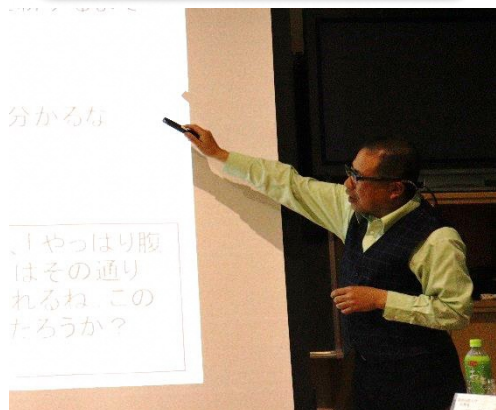
発行は、不定期になりますが、連携行事の今後の予定や事後の報告等を活動の写真などを中心にお知らせします。ぜひ、ご一読いただき、ご意見やご質問、ご感想がありましたら、下記担当へ直接ご連絡ください。



題名の「かがやく子」は、福原小・中学校が共にめざす児童・生徒像です。9年間の義務教育を終える時に、子どもたち一人一人が「自分のよさを輝かせることができる人」「何か一つでもキラリと輝くものをもった人」になってほしいという願いから、めざす児童・生徒像を「かがやく子」としました。

左の絵は、福原のイメージキャラクターの友くん（Y）、愛ちゃん（I）です。二人合わせて「友愛」になります。

今年度の重点「道徳科」



道徳の教科化に伴い、昨年度に引き続き小中で道徳の研究を進めていきます。今年度は、2月に川越市教育委員会委嘱学校研究の発表も控えています。

学習指導要領の改訂で名称が「道徳」から「特別の教科 道徳」に変更になりました。小中連携を通して、「考え議論する道徳」の授業づくりを行い、9年間で豊かな心を育ててきたいと思えます。

実際の授業では、教材に出てくる主人公になりきり、自己に置き換えて考え、それを発表しながらお互いに議論していきます。互いの意見をしっかりと聞き、自己の考えと比較することでよりよい道徳的価値について考えを深めることができるよう、研究を進めていきます。

※左上の写真は、5月の小中合同研修の様子です。開智国際大学教育学部 土井 雅弘先生をお招きして「道徳科における基礎・基本」の講演をしていただきました。

【問い合わせ先】 福原小学校教頭 243-4036 福原中学校教頭 243-4140